

## 津波防災拠点施設の整備を行っています

マリゲート塩釜の東隣に、「津波防災拠点施設」の整備を年内中のオープンを目指して行っています。

災害時は避難場所として、市営汽船運休時は島民の待機場所として利用します。通常時は震災・復興状況の展示を行いながら市民が震災を語り継ぐ場として活用していきます。

### 利用コンセプト

|                         |  |
|-------------------------|--|
| <p><b>津波発生時</b></p>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 周辺住民や観光客などの来街者を対象とした一時避難場所として利用。建物内に備蓄倉庫を設置し、毛布や飲料水、食料等を確保</li> <li>・ 浦戸地区の復旧復興の際の拠点として利用。</li> </ul> |
| <p><b>塩竈市営汽船運休時</b></p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 台風や濃霧等で市営汽船が運休となった際に帰島できなくなった住民が仮眠等を取りながら待機できる環境を提供。</li> </ul>                                       |
| <p><b>通常時</b></p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 模型や映像、写真パネルなどを通して塩竈市の被害状況や復興の歩みを将来に向けて伝承し、市民が震災を語り継ぐ場として利用。</li> </ul>                                |

### 施設イメージ



#### 【施設概要】

- 鉄骨造 2 階建て
- 延べ床面積：1,272 m<sup>2</sup>
- 2 階部分床面積：640 m<sup>2</sup>  
(2 階が避難者収容・展示施設となります。)
- 避難者収容人員：184 名

#### 【展示イメージの例】

震災発生から復興までを時系列で展示し、流れがわかりやすいものとします。立体模型や映像展示についても検討しております。

#### 【避難施設として】

水や食糧を備蓄するとともに、椅子やテーブルを組み合わせ横になれるような仕組みを検討しております。

